

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	1278.50	2021/2/22
High	1303.00	2021/2/22
Low	1169.00	2021/2/26
Close	1193.00	2021/2/26

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	4336.00	2021/2/22
High	4415.00	2021/2/22
Low	4014.00	2021/2/22
Close	4088.00	2021/2/26

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	2395.00	2021/2/22
High	2489.00	2021/2/25
Low	2297.00	2021/2/23
Close	2319.00	2021/2/26

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	8116.00	2021/2/22
High	8471.00	2021/2/25
Low	7770.00	2021/2/23
Close	7938.00	2021/2/26



ニュースエクスプレス

ロジウム価格、品不足と強い需要で25000ドル/オンス越え

- ・ ロジウム価格、2016年8月より40倍に
- ・ 在庫の加工で精錬生産が増加
- ・ (中断、キャンセルされた)プロジェクトの再開や新たなプロジェクトで生産がフル稼働となるには長い期間が必要

ロジウム価格は従来からの品不足に加えて供給不足、世界各国で厳格化する排ガス規制の導入、中国と欧州の強い需要を背景に2月25日、初めて25000ドル/オンスを超えた。

ここ数年間力強い上昇基調を見せているロジウム価格は、今年には既に47%上昇し、625ドル/オンスだった2016年8月から見ると40倍となった。世界最大のPGM二次精錬会社であるジョンソン・マッセイ社のロジウム価格は2月18日には11%上がって25450ドル/オンスで、ドイツの精錬会社 Engelhard Materials Services (BASF)では前週比10%増の 25300ドル/オンスとなった。

ロジウムの工業用途は化学とガラス産業に限られるが、年間需要の80%は世界の自動車産業で、ロジウムは触媒装置に使われており、その物理的、化学的な成分から他の金属で代用するのは難しくなっている。

<https://www.spglobal.com/platts/en/market-insights/latest-news/metals/022521-feature-rhodium-surges-past-25000oz-on-tight-supply-strong-demand>

イムプラットの利益328%上昇、記録的な中間配当、79億ランド

ランド建てPGMバスケット価格の高騰によってイムプラットは328%アップのheadline earningsを公表し、安全面も問題ない好調な生産と販売活動を背景に、記録的な79億ランドという中間配当を発表した。

2021年、PGM 市場は需要、供給共に大きく回復する見込み。パラジウムとロジウムの短期的な品不足は2020年中に蓄積された仕掛かり在庫の鉱石の放出でいくらかは緩和されると見られているが、品不足は依然として解消せず価格上昇につながるだろうと、同社のCEO、Nico Mullerが語った。

<https://www.miningweekly.com/article/implats-earnings-soar-328-record-r79bn-interim-dividend-declared-2021-02-25>

アムプラット、2030年までにPGM生産を20%増、年間360万オンスに増強

アムプラットは2030年までにPGM生産を20%増強して年間360万オンスを目指し、それまでに同社の鉱山は機械化、近代化の進んだものに絞ると発表した。

PGM、特にパラジウムとロジウム、そして来年は余剰から品不足になると予測されているプラチナの品不足予測を受けての生産拡大路線となる。

先週、シバニエ・スティルウオーターは68億ランドをかける新しいPGM 生産プロジェクトを立ち上げ、向こう2年間で25万オンスの生産増を目指すとして発表した。

4月で就任12ヶ月目となるアムプラットCEOのNatascha Viljoenは、「当社には成長の強い基盤」があり、「多様な、ローコストで長い年月の稼働が可能な鉱山と加工設備がある。」と語った。

積極的な拡大路線のため、アムプラットは今年100億ランドから110億ランドとしている総資本支出を、2022年と2023年の会計年度は120億ランドに、その後は130億ランドから230億ランドへ増やす可能性がある。

<https://www.miningmx.com/news/platinum/45326-amplats-to-increase-pgm-production-a-fifth-to-3-6-million-oz-year-by-2030/>

プラチナの価格と連動するステーブルコイン「xcoin Platinum」をサービス提供開始

両替及びステーブルコインサービスを提供する株式会社エクステンジャーズ（本社：東京都千代田区、代表取締役：竹田 恒泰、以下「EXC」）は、日本初となるプラチナの価格と連動するステーブルコイン「xcoin Platinum（略称：x-Platinum）」の発行及び取引サービスを2月8日より開始した。また、2020年11月30日にサービスリリースした「xcoin Gold」の累計発行額が2020年1月末時点で6億円相当を突破した。

x-Platinumやx-Gold保有者は、現物のプラチナやゴールドを保有することと同様な効果が得られ、EXC店頭にて現物の地金と交換することもできるようになる。コロナ禍において非対面取引のニーズがますます高まる中、xcoin walletを使えば誰もがいつでも好きなタイミングで気軽にプラチナやゴールドをアプリ上で購入することができ、また保管に関しても煩わしい手間が省けて、盗難リスクを心配する必要もなくなった。

尚、発行元のEXC社はx-Platinumの発行残高に相当するプラチナ地金を保有し、顧客の求めに応じて常に市場価格でx-Platinumを売買する。

x-Platinumはプラチナ地金の価値に裏付けられたステーブルコインであり、その価値は常にプラチナ価格と連動します。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000004.000067507.html>

Translated by Kazuko Osawa, JBMA



WPIC直近の活動

- WPIC最新特集「プラチナ投資のエッセンス 白金族金属PGMsの地上在庫について」は今プラチナの地上在庫予測の方法 とパラジウムとロジウムの地上在庫予測との比較を取り上げていますので、ぜひご覧ください。

https://platinuminvestment.com/files/543339/WPIC_Platinum_Essentials_Febuary_2021.pdf



(@wpicjapan)